

毎日の授業を大切にするために

広徳中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。10月も後半になりましたが、毎日のように夏日（気温25度以上）が続きます。大分や熊本では真夏日（気温30度以上）が記録されるなど、季節外れの残暑？のため、普段はこの時期から増え始める冬服も、今年はめっきり少ないどころか、まだ半袖夏服の皆さんばかりです。体温調節を適切に行って、体調の管理をお願いします。

さて皆さんは、先生方が1時間の授業を準備するために、どれくらいの時間をかけているか考えたことがありますか。「めあて」を設定し、プリントを準備し、黒板に書く内容を整理し、「まとめ」の方法を考える、などなど、1時間の授業のために、その何倍もの時間をかけて先生方は準備をしています。実験や実習がある教科は、その準備や片づけも必要になります。皆さんには、このことをしっかり考えてもらって、1時間1時間の授業を、決して無駄にしないようにしてくださいね。

○ 先生たちも毎日が勉強です

今月は、先生たちが授業をお互いに見せ合って勉強する「互見授業」の取り組みを行っています。中学校では自分の専門教科の授業を見ることが多いのですが、他教科の授業からも、進め方や黒板の使い方、ギガ端末の利用法など、学ぶことが多いと思います。16日は2年生で、国語科の藤浦先生が「平家物語」の授業を見せてくださいました。



【自分の考えを端末に入力します】

「平家物語」は古典と言われる、鎌倉時代に書かれた文章なので、現代の日本語とは大きく違います。それを2年3組の皆さんは、大きな声で読むことができている、素晴らしいと思いました。英語でもそうですが、言葉の勉強では声に出して読んでみることはとても大切です。授業の後半では、タブレットを使って話し合いの意見を共有したりして、平安時代末期の武士の気持ちに迫ることができていました。次の展開が気になります。

○ 知っていますか、朝食と学力の関係

文部科学省が全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査において、朝食を食べる頻度と学力調査の正答率の関係性を見てみると、小学6年生と中学3年生のどちらも、朝食を食べている回数が多い方が、学力調査の正答率が高い結果が出ています。毎日朝ごはんを食べている児童・生徒と、毎日朝ごはんを食べない児童・生徒の間では、10%以上もの正答率の差がありました。この調査結果から考えると、朝食と学力には大きな関係があると言えます。

朝ごはんを抜くと、そのまま1日の活動を始めようとしても脳がエネルギー不足ため、集中力が続かず結果も出にくいのだと思います。また朝ごはんを毎日食べるかどうかについては、多くの児童・生徒が、学年が上がるにつれて毎日食べる人の割合が減っているという結果も出ています。

中、高校生は、勉強や塾、部活動などが忙しくなって睡眠を優先した結果、朝食を取ることをつい後回しにしまいがち年代かもしれません。朝ごはんは学力や集中力との関係を考えると、毎日朝ごはんをきちんと食べることが、学力・体力アップのためにまずは必要だと思います。